

事業開催報告

記載日： 2024年6月9日

イベント名	関西支部セミナー「障害のある人の生活を支える制度を知る～事故による障害～」		
開催日時	2024年5月18日(土) 13時～16時30分		
開催場所	神戸学院大学 神戸三宮サテライト セミナー室	ブース番号等	A・B
講師・演者等	支援団体発表：西田敦氏（独立行政法人自動車事故対策機構） 弁護士発表：藤本一郎氏（だいち法律事務所） 環境整備団体発表：武藤俊之氏（NPO法人ケアリフォームシステム研究会） パネルディスカッション：上記3名及び、当事者：宮野秀樹氏（全国頸髄損傷者連絡会） 福祉用具専門相談員：玉野明博氏（川村義肢株式会社） コーディネーター：林威智郎（日本リハビリテーション工学協会関西支部）		
参加者数	有料	円： 人， 円： 人	
	無料	52人 その他	来場者数：25人（オンライン27人）
事業種別	展示会・ <u>セミナー／シンポジウム</u> ・講習会・その他（勉強会）		
	<u>主催</u> ・共催・協力・後援・協賛・出展・その他（ ）		
	本部・ <u>支部</u> （ 関西 ）・SIG（ ）・その他（ ）		
	主担当者氏名：林 威智郎（川村義肢株式会社）		
開催概要 (400字程度)	<p>事故による後遺障害者の場合、退院後の生活のイメージを持つことが困難であると聞く。そのような状況下で、当事者が入院期間中に独自で保険や制度の利用など、経済的支援の準備を進めることは多大な負担を強いられる。そこで、今回は交通事故での支援の流れなどを各専門職から発表いただき、パネルディスカッションではMSWからの課題に答える形で当事者の実情も含め、深堀した。</p> <p>アンケートからは「自動車事故対策機構の存在を知らなかった」「症状固定の時期がそれほど重要だと知らなかった」「流れを明確に整理、理解できて良かった」など高評価を得た。</p> <p>その一方、当事者の意見として、必要な情報が必要な人に届いていない現状が課題としてあがった。情報伝達・共有の難しさが浮き彫りになったイベントでもあった。今回の様な当事者及び関係相談者を中心として専門職からの発信を定期的に行うことが重要だと感じた。</p>		
写真 (2枚を貼付け)			
	図1 発表の様子		
	図2 パネルディスカッションの様子		
	(その他の写真 無) ファイル名：		
フライヤー等	(添付ファイル 有) ファイル名：チラシ (PDF)		
Web サイト			(継続・廃止)
開催報告掲載	協会誌	(掲載済み <u>予定</u>)	
	白石工務店；白石氏		